

電動車両 (EV・PHEV) の意義と価値をお伝えする次世代店舗

電動 DRIVE STATION





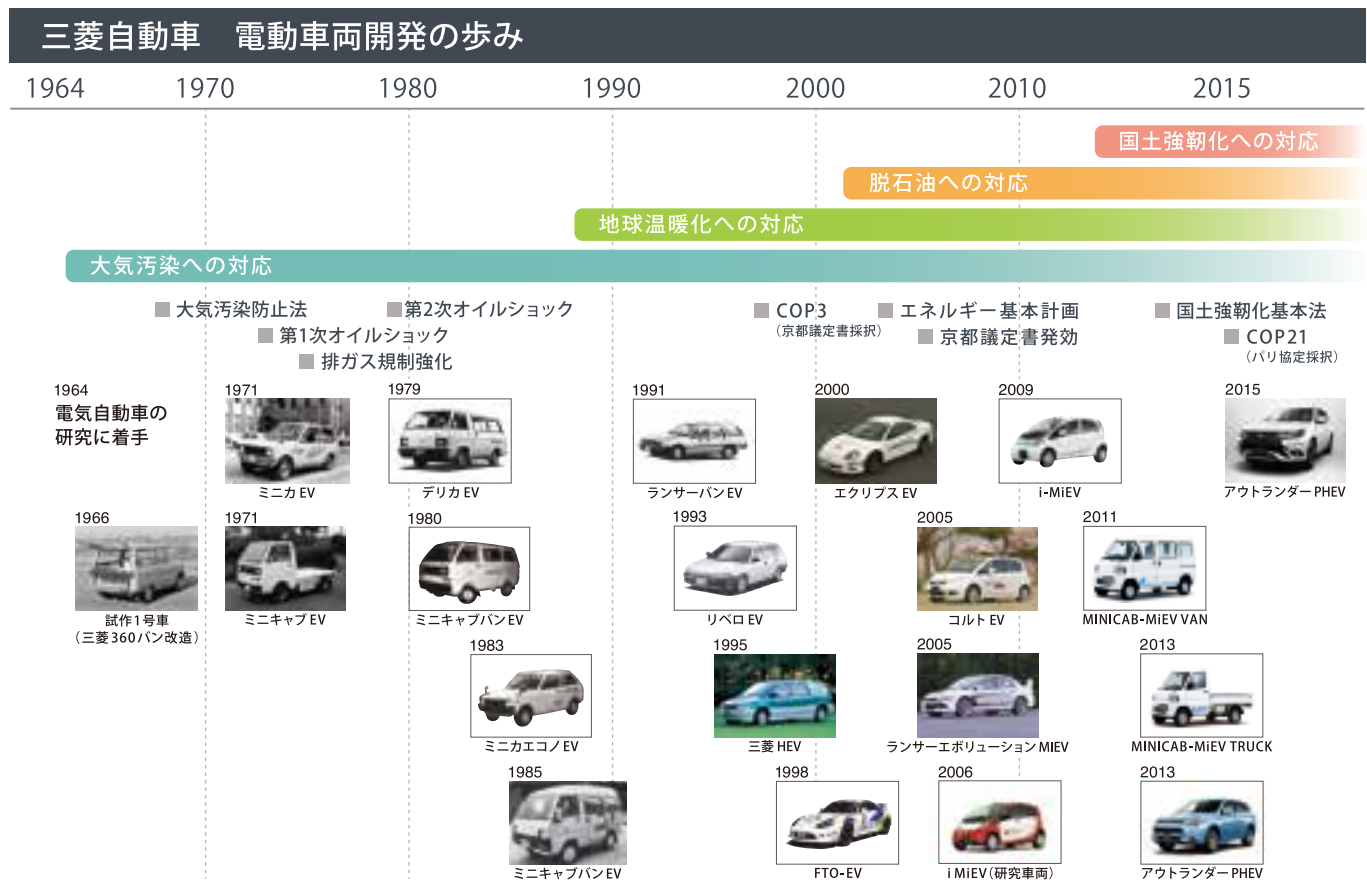
電動車両の普及を通じて社会に貢献

三菱自動車が電気自動車の研究を開始したのは、東海道新幹線が開通し、前回の東京オリンピックが開催された1964年(昭和39年)のことです。

それから40年以上におよぶ研究開発を経た、2009年7月、新世代電気自動車『i-MiEV』を、“次の100年の扉を開くパイオニア”として世界に先駆けて販売開始しました。

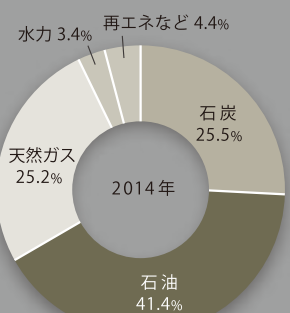
エネルギーソースに多様性を持つ電気を動力源とする電動車両(EV・PHEV)は、日本が安定したエネルギー需給構造を確立するために必要不可欠な存在であり、国土強靱化(防災・減災)の観点からもその重要性が増しています。

三菱自動車は電動車両の先駆者として、電動車両の開発・生産・販売をおこなうだけでなく、電動車両への共感を広げる活動を通じてその普及に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献していきます。



日本のエネルギー問題に、電動車両が果たす役割

【日本で使われるエネルギーの割合】



日本のエネルギー自給率は約6%。エネルギーの大半を海外からの輸入に頼っています。これは、先進国の中でも際立って低い水準です。

現在、日本が最も多く消費しているエネルギー源は石油です。そして、その石油を最も消費している存在が、自動車。

もし、自動車の燃料が石油以外のものに変っていったら、石油への依存度は下がり、日本のエネルギー需給構造の安定化を図ることができます。

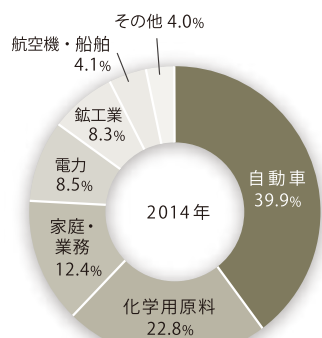
電動車両が動力源とする電気は、様々なものから生み出すことができるという特徴を持っています。

日本の電力のうち、石油による発電は10%程度に過ぎません。さらに今後、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入がすすめられることで、2030年には3%程度にまで下がる見通しです。*

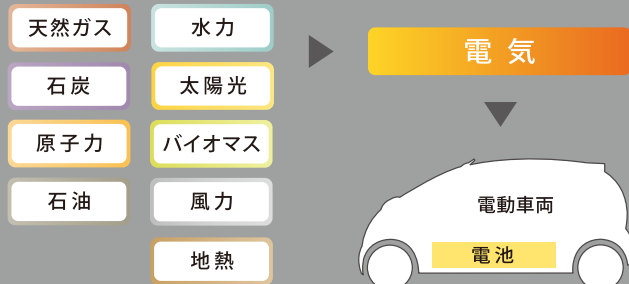
電動車両はこれから先、さらにクリーンで安定したエネルギーで走る乗り物へと進化をつづけ、日本を海外の情勢による影響から守り、豊かな生活が維持される社会にしていきます。

*1: 出典: 経済産業省「長期エネルギー需給見通し」

【日本の石油の用途】



多様性を持つ動力源



国土強靱化(防災・減災)に、電動車両が果たす役割

日本は、度重なる大災害により様々な被害がもたらされ、そしてそのたびに長期間にわたる復旧・復興もまた、繰り返されてきました。

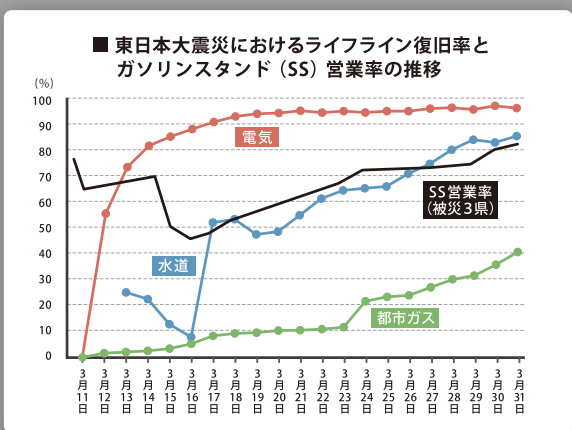
それを避けるために今、災害発生時に致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさをもつ社会システムの構築を目指す「国土強靱化」の取り組みがすすめられています。

災害発生時には、ガソリンの入手が困難となります。そのとき、ライフラインの中でも復旧の早い電気を動力源とする電動車両は、移動手段として重要な役割を担います。

また、電動車両に蓄えられた電力を家に供給するV2H^{※2}機器や、電化製品に直接電力を供給する外部給電機能により、電動車両は移動可能な非常電源としての役割を担います。

電動車両は、災害発生時の移動手段として、そして、エネルギー供給源として、日本を災害に強い国にしていきます。

※2: Vehicle to Home の略。電動車両に蓄えた電気を家に供給する仕組み。



電動車両 (EV・PHEV) の意義と価値をお伝えする次世代店舗 「電動DRIVE STATION」

「電動DRIVE STATION」は、電動車両 (EV・PHEV) の意義であるエネルギーソースの多様性と、外部給電機能がもたらす災害時の価値を具現化した店舗です。太陽光発電システムとV2H機器を備え、太陽光発電による電動車両への充電と、電動車両から店舗への電力供給を可能としています。

また、エネルギーや環境をテーマとしたワークショップや防災イベントの開催、防災に関する取り組みなどの地域情報を自治体と連携して発信する活動を通じ、地域社会への貢献を目指します。



エネルギーソースの多様性と災害時の価値を具現化する

太陽光発電システム & 系統連系型 V2H機器^{※3}

「電動DRIVE STATION」には、太陽光発電パネルを設置しています。太陽光パネルで発電された電力は、V2H機器を通じて電動車両への充電に使用し、余剰電力がある場合には系統電源 (電力会社の電気) と組み合わせて店舗で使用します。また、電動車両から店舗への電力供給も可能としており、停電時でも最大6000Wの電力を店舗内で使用することができます。

※3: 系統連系型の場合、「電動車両」「太陽光発電システム」「系統電源 (電力会社の電気)」の3つの電気を混ぜて使用することができる。

外部給電機能がもたらす災害時の価値を体感

ライフスタイルコーナー

ダイニングルームを模したライフスタイルコーナーは、太陽光発電システムとV2H機器を備えたスマートハウスの一室という設定です。ここでは、電動車両の外部給電機能がもたらす災害時の価値を具体的に体感いただくための、2つのデモンストレーションをご用意しています。

停電デモンストレーション

「停電時でも、いつもどおりの生活」という価値を体感

停電発生時、一般的な太陽光発電システムでは「停電用コンセント」のみへの電力供給しかできません。また、夜間にはそれも利用できなくなります。

電動車両とV2H機器があれば、電動車両から家全体に、昼夜を問わず電力を供給することができます。

「停電デモンストレーション」では、ライフスタイルコーナーへの系統電源 (電力会社の電気) の供給を止め、停電発生時と同じ状況を作り出します。そのときV2H機器が、電動車両と太陽光発電システムからどのように電力を供給するのか。エネルギーモニターで実際の電力の動きをご覧ください。



1500W 体感デモンストレーション

「MiEV power BOX」、アウトランダーPHEV「100V AC電源」の実力を体感

三菱自動車の電動車両は、電源供給装置「MiEV power BOX (ミーブ パワーボックス)^{※4}」や、アウトランダーPHEVの「100V AC電源^{※5}」を使って、最大1500Wの出力で電化製品に電力を供給することができます。

しかし、この最大1500Wという能力、どれだけの電化製品を動かすことができるものなのか、イメージをお持ちでしょうか。

複数の電化製品を様々な組み合わせで動かしながら実際の消費電力を確認し、1500Wの実力を体感してください。



※4: ディーラーオプション ※5: メーカーオプション (一部グレードは標準装備)

充電コーナー

充電設備を使って試せる

電動車両にとって必要不可欠な充電設備。操作方法や使い勝手を実際に確かめていただけるよう、店舗エントランス脇に、3種類の充電設備を取り揃えた「充電コーナー」をご用意しています。
また、店舗内には2種類の「EV充電コンセント」を揃え、合計5種類の充電設備がお試しください。




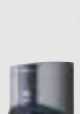


<展示ラインナップ>

電動車両から家への給電も可能

ご自宅での充電を「ラク」に「簡単に」

外出先での補充電時に

<p>V2H</p> <p><展示機種> 三菱電機 SMART V2H</p> 	<p>ケーブル付普通充電器</p> <p><展示機種> トヨタホーム EVH1-H-M</p> 	<p>急速充電器</p> <p>急速充電器は一般に開放しており、24時間365日ご利用いただけます。(有料)</p> <p><展示機種> 東芝ライテック DC2333EN</p> 	<p>EV充電用コンセント</p> <p><展示機種> パナソニック WK4322</p> 
---	---	---	---

デジタルサイネージ

最新情報をキャッチ

日本の社会に電動車両が果たす役割を分かりやすく説明するコンテンツや、三菱自動車の最新情報などを大型モニターでご覧いただけるデジタルサイネージを備えています。「電動DRIVE STATION」でしかご覧いただけないコンテンツも続々登場予定です。



キッズコーナー

絵本で学び、木とふれあう

キッズコーナーのテーブルや椅子・本棚等は、三菱自動車と取り組む「『パジェロの森』・ふるさと山再生活動」の活動場所である山梨県早川町産の木材で製作し、「植える→育てる→収穫する→上手に使う」という「森林の循環」への貢献に努めています。

自然材ならではの香りや温もりを実感していただき、木材に対する親しみを深められる場となることを願っております。

また、エネルギー問題をテーマにした絵本と、防災をテーマにした絵本を多く取り揃えました。エネルギー問題や防災に関し、絵本を通じて親子で考えるきっかけといただければ幸いです。



Wi-Fiスポット

車検やメンテナンスの待ち時間に、動画の視聴や大きなファイルのダウンロードなどが快適にお楽しみいただけるよう、無料のWi-Fiスポットをご用意しています。



地域社会への貢献

防災意識を高め、地域コミュニティを支援する活動

防災イベント

ご家族で楽しみながら災害の備えを学ぶ各種イベントを開催し、地域防災力の向上に取り組んでいきます。



豊かな未来を創る次世代の育成を支援します

エネルギー・環境学習ワークショップ

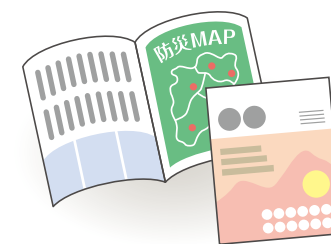
エネルギーや環境をテーマにしたお子様対象のワークショップを開催。
エネルギーや環境、電動車両への理解を深めていただくとともに、地域コミュニティの構築に寄与する店舗として取り組んでいきます。



防災・災害対策など

地域の情報発信

ハザードマップなどの防災に関する取り組みをはじめとする地域情報を、自治体と連携して発信し、地域の皆様の情報共有の場としていきます。



安全で安心できる地域社会の実現を目指します

こども110番

お子さまがもし、不審人物につきまわられたり事件に巻き込まれそうになった時には、「電動DRIVE STATION」に駆け込んでください。
お子さまの安全を守り、安心できる地域社会の実現を目指します。

